



新年明けまして おめでとうございます

本年のみなさまのご健康と

ご多幸をお祈り申し上げます

滝沢分館長 鈴木 正文
職員一同

滝沢分館駐車場 間もなく使用開始

平成26年8月に滝沢地域振興協議会が市へ要望し、地権者をはじめ皆様のご理解、ご協力をいただきながら、平成27年9月に着工し、急ピッチで工事が進められ、待望の駐車場使用が間近に迫ってきました。地域への素晴らしい正月プレゼントになりそうです。

駐車台数は33台、進入路脇に防火貯水槽(4,000L)が設置され、地域の安心安全にも配慮された駐車場です。分館利用者の不便の解消や児童館の子どもたちの安全確保が期待されます。

昭和58年の農村センター竣工以来、駐車スペースは5～6台程度しかなく、会議や行事が開催されるつど長壽寺様に、日常的には隣接する真滝児童館様に大変お世話になって参りました。長きにわたりご理解とご協力を賜り感謝に堪えません。また、工事期間中、近隣の皆様にはご迷惑をおかけ致しました。ありがとうございました。

移動市長室が滝沢分館へ

12月2日(水)午後1時半より3時まで、分館に移動市長室が置かれました。この時間帯を利用して、今年度より公民館が市民センター化されたこと、また市内各地域では指定管理に向けて取り組みが始まっていることなどを受けて、問題点や課題が出ていることが想定され、市長と滝沢地域振興協議会との懇談会が持たれました。「指定管理への移行」「デマンド交通導入検討」



「児童の健全育成」など計画書の主要事項について現状説明、質問、意見が出され、また市長から一つひとつ説明がありました。誘致が期待されているILC関連においては、滝沢地域は研究や国際会議などで重要な地域になることが想定されます。私たちもILCを横目で眺めながらも、現状をきちんと認識、把握し「明るく住みよい滝沢」を目指して地域住民が一緒になり地域づくりに取り組んで行くことが重要です。

※今回、「滝沢お宝マップ」はお休みします。

新年のご挨拶

滝沢地域振興協議会 会長 小野寺弘文

新春を迎え益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。



滝沢地域振興協議会も設立から三年目を迎えました。昨年は多くの方々からご支援をいただき、明るく住みよい滝沢をつくるため「滝沢地域づくり計画書」を策定し、一関市へ提出することが出来ました。『一関市民センター滝沢分館』は平成29年度指定管理移行を目指しております。公民館機能や地域づくり機能の体制を整え、一歩ずつ前進して参ります。「地域づくり講演会」講師の広田純一先生(※)は、講演の最後に「そもそも良い地域とは?…この土地で暮らしていくことへの覚悟、…縁あって暮らすことになった地域を大切に…」と結ばれました。この言葉を肝に銘じて行きたいと思えます。

本年も皆様にとりまして良い年になりますようお祈りいたします。

※広田純一先生…岩手大学農学部教授・NPOいわて地域づくり支援センター代表理事

地域住民が一緒になり勉強 「地域づくり講演会」

12月5日(土)13:30から、広田純一先生をお招きして地域づくり講演会が開催されました。沖縄県海士町(あま町・竹富島)などの事例を紹介しながら「地域で取り組める人口減少対策」について、わかりやすくご講演いただきました。若い人を増やさなければ地域は細っていく。そのためには地域外にファンや協力いただける方を増やしていく。また、都市部に出た人を呼び戻すために、リスト作りをして地域情報誌を届けるなどつながりを持ち、拡大していくことが肝要で地域人口だけではなく拡大人口を増やしていくことなどが紹介されました。最後に「そもそも良い地域とは?」について熱く語られました。

そもそも良い地域とは?
『腹のくくれている地域』
ないものねだりしない
あるものを生かす
この土地で暮らしていくことの覚悟
縁あって暮らすことになった地域を大切に



「わ・す・れ・も・の」

- ・9/24 の循環器検診後、紺色の女性用帽子発見。(写真)
- ・11/26 の乳がん検診時、エンジ色の靴を履き間違えて帰られた。お気づきの方は滝沢分館(23-8844)まで。

一関市民センター滝沢分館利用者数推移

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
人数	697	444	654	770	978	1,759	642	1,272	
累計	697	1,141	1,795	2,565	3,543	5,302	5,944	7,216	

(11月主な内訳)

11/7 真滝児童館まつり 250人・11/15 真滝芸術文化祭 180人・11/26 乳がん検診 70人

